

第1学年 道徳学習指導案

日 時 平成16年9月10日(金) 5校時
場 所 山形村立山形小学校 1年教室
児 童 1年 (男子4名 女子10名 計14名)
指導者 柏木路子

1. 主題名 こまっているともだちに (友情・信頼、助け合い 2-(3))
2. 資料名 くりのみ (学研)
3. 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領道徳の第2章、第1学年及び第2学年の内容の2「主として他の人との関わりに関すること」の(3)で「友達と仲よくし、助け合う。」とある。2の視点は、自己を他の人のかかわりの中でとらえ、望ましい人間関係の育成を図ることに關するものであり、(3)は、友達との間に信頼と友情及び助け合いの精神をもった児童を育てようとする内容項目である。

友情とは友人間のなさけやいつくしみをいい、友人関係を高めていく上で欠くことのできない大切なものである。友人関係は平等な人間関係が基本となり、よい友人関係を築くためには、お互いの存在やよさを認め合い、互いに理解し合わなければならない。そのためにはまず、相手の立場になって考えるという思いやりの心がなければならない。その上に、ごまかしたり裏切ったりしない誠実さがあって、はじめて友情が生まれてくる。また、人間関係を円滑にするためには信頼する心を持つことも大切である。真の信頼関係は、思いやりと誠実さがあってこそ成立する。信頼し、助け合うことによって人間関係がより高められていくのである。

(2) 児童について

学級の子どもたちは素直で明るく、友達に対しても優しく接しようとする子が多い。同一保育園の卒園児が多いこともあって男女とも仲良くでき、友達関係での大きなトラブルはあまり見られない。しかしながら、この時期の子どもの発達段階としての自己中心的な部分をもっており、相手の気持ちを考えて思いやりという心はまだ十分に育っていない。

そこでこのような時期の子供たちに、友達と一緒に活動することのうれしさや楽しさの感情に強く訴えたり、友達と仲よくすることの大切さに気付かせたりしながら、「友達っていいものだな。」「友達って大切だな。」「いい友達になりたいな。」という気持ちを育てていくことは大切なことである。

(3) 資料について

本資料は、たくさんのどんぐりをみつけたきつねが、友達のうさぎに何もみつからなかったとうそをついたにもかかわらず、うさぎのみつけたくりのみを一つ分けてもらい、その優しさに感動し涙をぼろっと流すという話である。冬の寒いある日、友達同士のきつねとうさぎは、それぞれに食べ物を探しに出かける。きつねはどんぐりをたくさん見つけておなかいっぱい食べた後、残りのどんぐりを落ち葉で隠すが、独占欲がわいて何もみつからず腹ぺこだとうさぎにうそをつく。するとうさぎは自分が二つしかくりのみを見つけなかったにもかかわらず、きつねの嘘を疑うこともなく、きつねに一つ分け与える。きつねはそんなうさぎの優しく心温まる行為に、友達のありがたさを感じて涙を流すのである。

うさぎの友達を思う優しさに触れ、ぼろっと涙を流すきつねの気持ちを考えさせることにより、友達のよさに気付かせ、友達と仲よくすることの大切さを感じとらせることができる資料である。

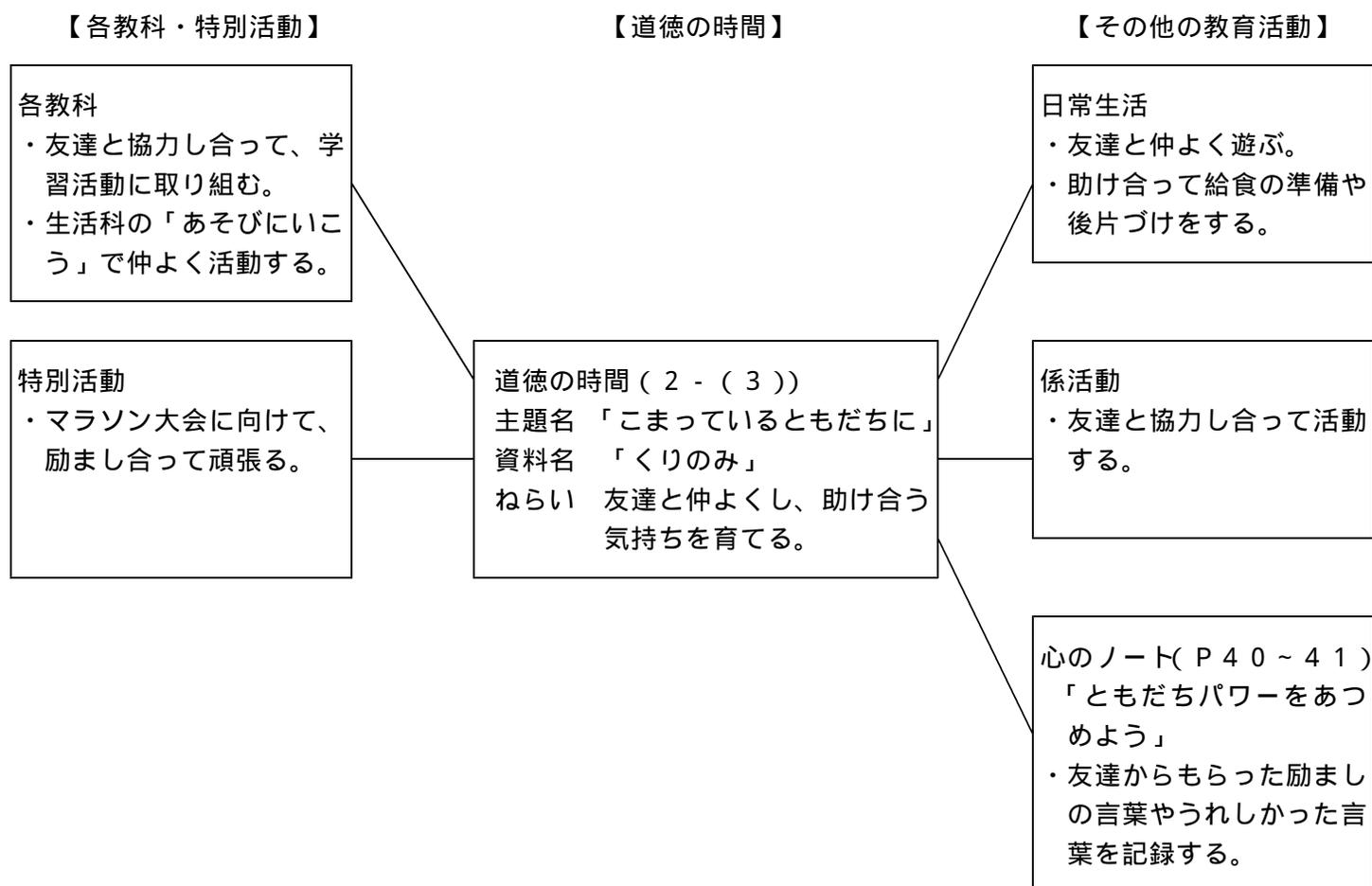
(4) 指導にあたって

価値を理解させるために、きつねが食べ物を独占したくなった気持ちに共感させたり、うさぎの優しさに触れたときの気持ちを考えさせたりすることで、相手を思いやる心の優しさが友情を深めていくことに気付かせ、友達と仲よく助け合うことの大切さを理解させたい。

また価値と自分とをかかわらせるために、日常の生活の中から友達と助け合って過ごしたときの楽しさやありがたさを想起させ、自分たちの中にある友達との心のつながりに気付かせたい。

さらに価値実現の意欲を持たせるために、子どもたちの生活の中から友達と助け合って過ごしている姿を紹介し、これからも友達と仲よく助け合っていこうとする意欲を持たせたい。

4. 他の教育活動とのかかわり



5. 本時の指導

- (1) ねらい 友達と仲よくし、助け合う気持ちを育てる。
- (2) 展開

	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
気 づ 心 10 分	1. 冬の山に住む動物たちの様子について知り、資料に関心を持つ。 2. 資料「くりのみ」を読み、課題を設定する。	・食べ物がなくてかわいそうだね。 ・食べ物がなくなって困っているんだね。 ・冬は食べ物がなくて、動物たちはかわいそうだね。 ・きつねがうそをついたのが悪かった。 ・うさぎはやさしいなと思った。	・食べ物の少ない冬を生き抜く動物たちの厳しさに気付かせ、資料への関心を持たせる。 ・心に残ったことを発表し合う中で、一緒に課題作りをする。
ぼろっとなみだをながしたときのきつねのきもちをかんがえよう。			
見 つ め る 15 分	3. やっと食べ物をみつけたときのきつねの気持ちを考える。 どんぐりがたくさん落ちているのを見つけたとき、きつねはどんな気持ちだったでしょう。 4. くりのみを落ち葉で隠したきつねの気持ちを考える。 きつねはどんな気持ちで残りのどんぐりを落ち葉で隠したのでしょうか。	・おなかいっぱい食べられるぞ。うれしいな。 ・やっと見つかった。助かったぞ。 ・誰にも取られたくない。 ・また明日食べよう。 ・自分だけのものだ。 ・他の人には誰にも見つけれないようにしよう。	・厳しい冬の寒さの中、食べ物がなかなかみつからない状況でやっとどんぐりを見つけることができたきつねの喜びをおさえる。 ・独り占めしようとするきつねの気持ちに共感させる。

	<p>5. うそをついたきつねの気持ちを考える。</p> <p>きつねはおなかがいっぱいなのにどうして「はらぺこです。」とうそをついたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うさぎさんにもあげないといけなくなるから。 ・本当のこといたら自分の分が減ってしまうから。 ・せっかく見つけたのに人にあげたらもったいないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことばかりを考えて、友達のうさぎにどんぐりをとられたくないと思っているきつねの心の弱さを押さえる。
つ か む 10 分	<p>6. ぼろっと涙を流すきつねの気持ちを考える。</p> <p>きつねは、うさぎにもらったくりのみを握りしめ、涙を流しながらどんなことを考えたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うさぎさん、ありがとう。 ・うそをついてごめんね。 ・これからはうさぎさんのようにやさしなるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うさぎの相手を思いやる行為に気付かせる。 ・役割演技を取り入れて、自分のことしか考えなかったことを反省し、うさぎの優しさに感動するきつねの心をつかませる。
広 げ る 10 分	<p>7. 今までの自分を振り返る。</p> <p>これまでに、友達に優しくしてもらったり、友達と仲良く助け合ったりしたことはありますか。</p> <p>8. 事例を話し、学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・けがをしたとき、保健室に連れて行ってくれてうれしかった。 ・マラソン大会の練習で励まし合って頑張った。 ・給食の後かたづけを手伝ってくれた。 ・教頭先生からの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの中にある友情、助け合いの心を自覚させる。 ・子どもたちの日常生活の中から事例を取り上げ、認めてもらうことで実践意欲につながるようにしていく。

6. 評価の観点

- ・ うさぎの優しさに感動するきつねの気持ちを考えることにより、友達のよさや大切さに気付き、友達と仲よく助け合って過ごすことの大切さを理解している。
- ・ 日常生活の中で友達と仲よく助け合って過ごしている場面を想起して語り合うことで、友達と仲よく助け合って過ごしている自分たちのことに気付いている。
- ・ 教頭先生の話を聞くことにより、友達と仲よく助け合っていこうという意識を高めている。

【資料分析】 資料名「くりのみ」（学研 1年）

場面	主人公の心の動き	子供の意識	発問
寒い北風の吹くある日、食べ物を探しに出かける途中、きつねとうさぎが会う場面	食べ物がたくさんみつかるといいな。食べ物がなかったらどうしよう。	きつねさんもうさぎさんも、食べ物がみつかるといいね。	
不安			
きつねが、どんぐりがたくさん落ちてのりをみつけた場面	やった。こんなにたくさんみつけたぞ。うれしいな。おなかいっぱい食べれるぞ。	たくさんみつかってよかったね。これでなんとか助かってよかったね。	どんぐりがたくさん落ちているのを見つけたとき、きつねはどんな気持ちだったでしょう。
喜び			
きつねがどんぐりをたくさん見つけて食べ、残りを落ち葉で隠す場面	また明日食べる分にしよう。他の人に見つからないように隠さなきゃ。自分だけのものだ	独り占めにしているのかな。	きつねはどんな気持ちで残りのくりのみを落ち葉で隠したのでしょうか。
独占欲			
きつねが何も見つけられなかったと嘘をつく場面	うさぎさんにはあげたら自分の分が減ってしまうよ。人にあげたらもつたいない。独り占めにした い。	うさぎさんにも分けてあげたらいいのに。独り占めしたくなる気持ちもわかるな。	きつねはおなかがいっぱいなのにどうして「はらぺこです。」とうそをついたのでしょうか。
迷い・うしろめたさ 独占欲			
きつねがうさぎにもらったくりのみを握りしめ、涙をぽろっとこぼす場面	ありがとう。優しいね。うそをついてごめんね。うさぎさんにもどんぐりをあげるからね。	うさぎさんは、優しいね。うそをついたらいけないね。友達は助け合わないといけないね。	きつねは、うさぎにもらったくりのみを握りしめ、涙を流しながらどんなことを考えたでしょう。
感動・感謝・友情			